

第3学年3組 国語科学習指導案

場所 3-3 教室

- 1 単元名 依頼に応えよう ～ 観察・分析して批評文を書く～
教材名 「観察・分析して論じよう 批評文」

2 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は「書くこと」のB(1)ア「社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。」、B(1)イ「論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。」に対応しており、B(1)エ「書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。」も意識している。対象を観察・分析し、観点をはっきりさせて比較したり、互いの書いた文章を読み合ったりすることで、より客観的でより説得力のある批評文を書かせることをねらいとしている。

批評文を書くことは、中学校で学習する論証・説得系統の文章を書く集大成ともいえる課題である。生徒は、卒業後の社会生活で、さまざまな物事について、その是非や優劣、善悪、美醜などを評価して論じることであろう。そういった場面において自他を納得させるためには、複数の観点から批評し、吟味し、筋道を立てて論じることが大切である。このような言語能力を、選んだ対象や観点、理由を交流することで育成したい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は32名である。生徒たちは1年時の「根拠を明確にして書こう」、二年時の「反対意見を想定して書こう」で、複数の対象から一つを選択してその根拠を述べるという学習をしている。その際、対象をよく観察・分析することなく第一印象で結論を決め、理由は後付けとしてしまった結果、説得力に欠ける文章を書いていた生徒が多くいた。全国学力・学習状況調査の結果によると、複数の資料を読み取って考えたり、複数の条件を踏まえてまとめた文章を書いたりすることに難しさを抱えている生徒が多い。これらの実態は、書く前の段階に課題があることが原因であると考え、「じっくりと観察・分析すること」、「観点をはっきりとさせて比較すること」に力を入れて本単元を組み立てた。

(3) 指導観

指導にあたっては、生徒が見通しをもって取り組めるように、「学習課題」と「学習の流れ」を明確に示すとともに「学習の手引き」を活用する。教師がモデルを示したり、ワークシートに例を載せたりもしていく。そして、単元の終わりや授業後の「振り返り」とともに活動の合間の「振り返り」で学習への理解度や課題などを認識させ、今後の学習への展望につなげたい。

生徒が主体的に活動できるよう、湯梨浜町にある小さなデザイン会社に次々と舞い込む依頼を解決するという場面の設定をする。全体を通して、対象をできるだけ客観的に捉えることに意識を向けていきたい。人に流されて決めたり、パッと見た時の雰囲気や単なる好き嫌いなどの主観だけで結論を出したりするのでなく、その対象を様々な観点からしっかりと見て分析しようとする姿勢を身につけさせたい。そのために、ペア活動や3～4人でのグループでの活動を取り入れていく。

批評文を書く際には、複数の構成を提示し選ばせたい。自分の判断の根拠は、観点だけでなく、その対象の特徴などもできるだけ具体的に記述するよう指導する。自分が選ばなかった対象についても、同じ観点で見た時の印象などを具体的に言及するとより説得力のある文章になることに触れる。記事からの引用については、積極的にさせたい。既習事項である引用の復習のためだけでなく、適切な引用が文章の説得力をより強めることを意識させたい。

読み合って評価する活動では、他の人が書いた批評文を読むことを通して、評価する眼を育てたい。そして、書くときは最良だと思っていた自分の作品に再度目を通すことによって、書いたときには気づかなかった自分の文章の問題点を見つめ、実際に推敲することによって、今後の書く活動につながる「振り返り」につなげたい。

3 単元の目標

観察・分析したり、比較したりして自分なりの判断を下し、論の進め方を工夫して説得力のある批評文を書くことができる

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
1 観察・分析して批評文を書く学習に関心を持ち、意欲的に書こうとしている。	1 対象の特徴を観察し、表現効果や作り手の意図を分析したり、観点を決めて比較したりして、自分なりの判断を下している。 2 根拠を具体的に記述して、結論が明確に伝わるように論の進め方を工夫するとともに、資料を参考にしたり引用したりして生かしている。	1 文章の中で漢字を適切に使っている。

5 学習指導と評価の計画（5時間）

時間	学習内容	ねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			関	書	言		
1	<ul style="list-style-type: none"> 少年野球チームからの依頼に応じて、ロゴマークを選ぶ。 ポスターのねらいを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 二つのロゴマークをグループで観察・分析し、観点を決めて比較して自分なりに決めることができる。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ロゴマークの特徴について観察したことや、表現効果や作り手の意図等分析したことを複数書いている。 	ワークシート 観察
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 湯梨浜町役場からの依頼に応じて、ポスターを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 三つのポスターをグループで観察・分析し、観点を決めて比較して自分なりに決めることができる。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 観察・分析したことを踏まえて観点を決めて比較し、判断につなげている。 	ワークシート 観察
3	<ul style="list-style-type: none"> 製菓会社からの依頼に応じて、参考資料と考え合わせて、ポスターを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考資料と考え合わせてポスターを観察・分析し、比較して自分なりに決めることができる。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 参考資料の内容と考え合わせて、詳しく観察・分析したうえで、自分なりに重要と考える観点を決めて比較し、意見まとめている。 	ワークシート 観察
4	<ul style="list-style-type: none"> 製菓会社への回答を手紙(批評文)にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を具体的に挙げたり、論の進め方を工夫したりして、説得力のある批評文を書くことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を具体的に書いている。 結論が明確に伝わるように論の進め方を工夫している。 文章の中で漢字を適切に使っている。 	ワークシート 観察
5	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと(手紙)批評文を読み合っで評価し合い、自分の批評文を推敲する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの批評文の良い点を自分の表現に活かすことができる。 批評する際の結論の出し方、論の進め方等について振り返ることができる。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 文章の書き方について友達の批評文の良い点を指摘している。 批評文を書く活動での気づきを具体的に書いている。 	付箋 観察 振り返りシート

6 本単元での『振り返り』

社会生活に向けて「筋道を立てて論じる力」をつけるために、説得力のある批評文を書くことをねらいとして毎時間の活動を重ねていくことを生徒が意識しながら、今できていることや身につけ

た力を確認し、これからの活動に展望をもつための場として、振り返りの場面を設定する。具体的には、振り返りの全体計画を生徒に示し、単元の終わり、授業後、活動の合間の「振り返り」で学習への理解度や課題点などを振り返らせる。学習のねらいに即した振り返りとするため、学習のねらいと流れを生徒に示し、学習のねらいを板書する。また、「振り返り」の場面を「生徒同士が認め合い、学び合う場」にもしていきたい。相互評価も積極的に取り入れていきたい。

7 本時の学習

(1) 本時目標

グループで協力して観察・分析し、観点を決めて比較して自分なりに判断することができる。

(2) 準備

学習の手引き、ワークシート、振り返りシート

(3) 学習過程

	学習活動	主な発問（・）と予想される生徒の反応（◇）	教師の評価（☆）と支援（・） 〈評価方法〉
導入	1 前時の振り返り	・A～Cのポスターのねらいと観点を確認。 Aエコ Bおしゃれ C 親しみやすい	・前時の学習の感想と作品を紹介する。
	2 学習課題の把握	・「町民にマイボトルをもってもらうために、どのポスターを採用するのがよいか」じっくりと考えて自分なりに決めよう。	
展開	1 エキスパート活動 (3～4人)	・担当するポスターの観察・分析をしよう。 ・グループの誰もが説明できるように観察・分析した内容を教え合おう。	・活動をイメージしやすいよう、手引きを示す。 ・ポスターとワークシートを各グループに配布する。
	2 ジグソー (3～4人)	・元のグループに戻り、観察・分析した内容を説明しよう。	☆判断材料として十分な観察・分析している。 〈観察・ワークシート〉
	<p>「マイボトル」のポスターにとって重要だと思うものを観点として決め、その観点から判断して、最も優れているものを選ぼう。</p>		
	3 自分の考えを練る。 (個人)	・どの観点で選んだか、その場合どういったことが決め手となるか、観察・分析した内容を根拠として挙げよう。	☆観察・分析したことを踏まえて観点を決めて比較し、判断につなげている。〈ワークシート〉
4 意見交換する。 (ペア)	・クラスの人とペアで意見を交換しよう。 ・聞くときのポイントは、「誰の意見に最も説得力があるか（選んだポスターの観点と根拠につながりがあるか）」を考えながら聞くことです。		

	5 よい考えを全体でシェアする。	・最も説得力があると意見を言った人は誰ですか。	
まとめ	振り返りを書く。 (個人)	・「観察・分析に基づいて判断を下せたか。」 という視点で振り返りを書こう。 ◇分析したことを活かして比較できた。 ◇好き嫌いでなく、論理的に判断できた。	・振り返りの視点を示す。